

「コミュニティデザインと福祉文化」の視点で福祉文化現場セミナーから学ぶ

日本福祉文化学会理事・総務委員長 渡邊 豊

好評につき7月4日（日）に追加開催した第2回福祉文化現場セミナーには、2人の学生の参加がありました。たいへんありがとうございました。2人の研究テーマの参考になり意義のあった福祉文化現場セミナーへの参加であったことが、感想文に書かれています。

参加者の1人である小田大地さんに伺ったところ、「コミュニティデザイン」をテーマに研究しており、今後も継続して沼垂テラス商店街に関わりを持っていきたいということで、日本福祉文化学会・新潟福祉文化を考える会としても、毎月第1日曜日に開催される沼垂テラス商店街の「朝市」に合わせるなどして、福祉文化現場セミナーを毎月定期的に継続して開催したいと考えています。

第3回目は8月1日（日）に開催することとし、参加予定者は6人です。（7月25日現在）さらに、8月21日（土）には長岡市川口地区で「災害と福祉文化」をテーマに福祉文化現場セミナーを開催します。これからの新潟福祉文化を考える会の取り組みに注目してください。そして、新潟だけではなく、全国各地の会員のみなさんにより気軽に楽しく、そして学びや交流のある福祉文化現場セミナーが活発に開催されることを願っています。

沼垂テラス商店街 フィールドワークレポート

新潟医療福祉大学社会福祉学部3年 小田 大地

（今回の活動への参加について）

7月4日（日）天気曇りのち雨、以前より渡邊豊先生から紹介があった沼垂テラス商店街の朝市で行われるフィールドワークに参加した。今回は合同研究の件もあり東北芸術工科大学のコミュニティデザイン学科の知人と共に活動を行った。現地には11時集合であったが、混雑により付近の有料駐車場が全て満車だったため駅前に駐車し定刻過ぎから活動を行った。

（活動の詳細）

初めに渡邊豊先生から沼垂地区や沼垂テラス商店街に関する説明がありその後朝市が終わるまでの一時間ほど滞在した。出店を含めた店舗数は約30店舗で、本業としてではなく趣味で営業をしているという店もあった。



→当日の沼垂テラス商店街の様子

新潟市民で普段の現地の様子を知っている自分としてはかなりの賑わいがあるように感じた。何店舗かの店員の方に話を伺うと、普段から営業している人だけでなく朝市みの営業だからこそ販売できるものもあるという。

余談だが、「Ruruck Kitchen」様の「沼ネコ焼」がおすすめ。もちもち最高。

(今回の活動による考察)

沼垂テラス商店街の朝市は毎月第一日曜日に開催されているが当日の混雑する様子からもわかるように一定の需要があるようだ。渡邊豊先生から聞いた話を参考にすると、付近の地域住民のみでなく新潟市外からの来客も多く幅広い地域間の交流の場となっていた。以上の点や今回の活動を通じて、商店街や市（イチ）の衰退・繁栄には周辺地域の人の流入と産業の変化が関係するのではないかと考える。今回の活動を通じて得られた本考察は、今後大学にて行う予定の合同研究にも直結する重要な内容であるため、繰り返し本フィールドワークに参加することで考察を深めたい。

東北芸術工科大学 デザイン工学部

コミュニティデザイン学科1年 榎 葵

今回は沼垂テラス商店街でのフィールドワークに参加した。実際に商店街の様子を見て自分が想像していた朝市との違いに衝撃を受けた。私はこれまで朝市に対して、早い時間に始まり高齢者が多く野菜ばかり売られている印象や、朝市に訪れる人はいるが昼間の商店街に日常的に人が立ち寄るための工夫がなされていない、というイメージを持っていた。

しかし沼垂テラス商店街の朝市では高齢者から小さな子供までの様々な客層が訪れており活気に満ち溢れていた。それは沼垂テラス商店街を利用する人にとって、カフェで一服や、制作体験への参加機会など買い物以外の活動ができることが大きな要因だと思う。

また、沼垂テラス商店街での活動に参加したいと考えている人がボランティアとして協力できるような仕組みがあることや、周辺地域の住民が出店し趣味の制作物を販売することを通じて、沼垂地区に住む人や外部から遊びにきた人の交流を促しコミュニティ形成のきっかけにつながっているのだと感じた。地域や年代を超えた交流が生まれることにより

普通の朝市とは異なり、沼垂テラス商店街が親しみやすい印象をもつ要因になっているのではないだろうか。定期的に沼垂テラス商店街に足を運びたくなる理由も楽しい雰囲気とお店の人や地域の方との交流ができることが一因になっていると考える。

今回のフィールドワークでは一度廃れてしまった商店街が活気を取り戻していく過程を垣間見ることができたように思う。私は今後、商店街がもつ地域での役割や地域の人との交流を生むための商店街の有効的な利用方法について学び、その後の合同研究に活かしていきたいと考えている。そのために沼垂テラス商店街での経験を今後に生かし、また機会があればさらに深いお話を伺いたいと思った。